



# JBL CINEMA SB450



 DOLBY AUDIO™

 **HDMI**®  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

 **Bluetooth**®

取扱説明書

## 目次

はじめに	3
同梱品目	3
トップパネル・コントロールおよびリモコン	3
サウンドバー・リアパネル接続とコントロール	4
サブウーファー・リアパネル接続とコントロール	5
サウンドバーの設置	5
テーブルにサウンドバーを置く	5
サウンドバーの壁への設置	5
サブウーファーの設置	6
接続	6
サウンドバー・オーディオ/ビデオ接続	6
電源接続	7
サウンドバーシステムの使用	7
サブウーファーのオンとオフの切り替え	7
サブウーファーのオンとオフの切り替え	7
ワイヤレス操作をするためのユニットのペアリング	7
ソースの切り替え	7
システムのボリューム調整	7
システムのミュート	8
BLUETOOTHを使う	8
JBL SOUNDSHIFT™(サウンドシフト)を使う	8
JBL CONNECT(コネクト)を使う	8
音声フィードバックを使う	9
バーチャル・サラウンドを使う	9
Harman Volume (ハーマンボリューム) を使う	9
バスの調整	9
サブウーファー・レベル・コントロール	9
サブウーファー・クロスオーバー・コントロール	10
サブウーファー・フェーズスイッチ	10
TVリモコンを使う(TVリモコン・ラーニング)	10
サウンドバーのリセット	10
トラブルシューティング	11

### はじめに

JBL Cinema(シネマ) SB450をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。JBL Cinema(シネマ) SB450はホームエンターテインメント・システムにすぐれたサウンドを実現できるよう設計されています。最大限に引き出していただくために、まずは本書をご一読ください。製品の説明と、スタートするための設定を手順に沿って記載されています。

製品に関するお問い合わせ <http://jbl.harman-japan.co.jp/support/> メールでのお問い合わせは、上記URLよりお問い合わせフォームをご利用ください。Tel : 0570-550-465 (ナビダイヤル) 受付時間：土日・祝日・年末年初を除く、平日9:30~17:30

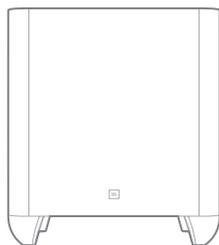
### 同梱品目

#### サウンドバー



x1

#### ワイヤレス・サブウーファー



x1

#### リモコン



x1

#### 光端子ケーブル(1.5m)



x1

#### HDMIケーブル(1m)



x1

#### (2)電源ケーブル(5フィート、1.5m)



x1



x1

#### 壁はめ込み用ブラケット

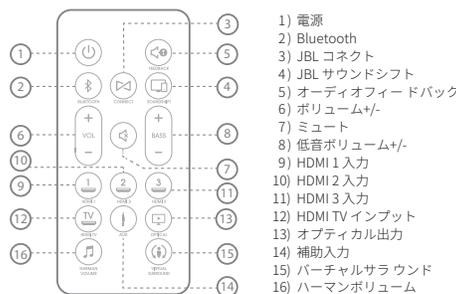


x1

#### クイック・スタート・ガイド

x1

### トップパネル・コントロールおよびリモコン



注意：リモコンを使用する前にリモコンの底部にある電池の絶縁タブを取り除いてください

**電源**：サウンドバーがスタンバイモードの場合はこのボタンを押してシステムをオンにします(パワーインジケータが白に変わります)。システムをスタンバイモードにするには、システムがオンになっている時に電源ボタンを押します。(パワーインジケータがアンバー色に変わります。)

**注意:10分間作動しなければ、サウンドバーは自動的にスタンバイモードに入ります。詳細については、「サウンドバーのオンとオフ」セクションをご覧ください。**

**ソース**：このトップパネルボタンを押すと、次の順番でソースが切り替わります：HDMI 1、HDMI 2、HDMI 3、HDMI TV、外部入力、光端子入力。アクティブなソース・インジケータLEDが点灯します。リモコンには、各ソースの個別セクター・ボタンがっています。

**バーチャル・サラウンド**：このボタンを押すと、サウンドバーのHARMAN(ハーマン)ディスプレイ・サラウンド処理のオンとオフが切り替わります。HARMAN(ハーマン)ディスプレイ・サラウンドがアクティブになると、バーチャルサラウンド・ボタン・インジケータが白に変わります。詳細については、「バーチャル・サラウンド」セクションをご覧ください。

**ボリュームボタン**：(+ )ボタンを押してボリュームを上げ、(-)ボタンを押してボリュームを下げてください。

**バスレベル・コントロール(リモコンのみ)：**このボタンを押し、好みに応じてサブウーファー全体のレベルを調節します。

**Harman Volume (ハーマンボリューム) (リモコンのみ)：**

このボタンを押すと、Harman Volume (ハーマンボリューム) がアクティブ化します。この機能により、ボリューム・レベルを一定に保ち、音楽を聴いたりテレビを見る時のボリュームの大幅な変化を抑えます。詳細については、「Harman Volume (ハーマンボリューム) を使用する」セクションをご覧ください。

**オーディオ・フィードバック(リモコンのみ)：**このボタンを押すと、オーディオ・フィードバックがアクティブ化します。この機能は可聴音により、特定の機能がアクティブであることを示します。詳細については、「オーディオ・フィードバックを使用する」セクションをご覧ください。

**ミュート(リモコンのみ)：**ミュートボタンを押すとシステムがミュート状態になります。(トップパネルの電源LEDインジケータが白く点滅します。)システムがミュート状態の場合、サウンドを聞こえるようにするには、ミュートボタンを再度押すか、ボリュームボタンを押します。

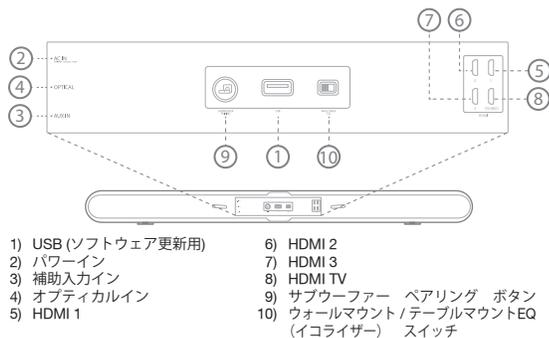
**注意：**システムがオンになっている時に、サウンドバーのトップパネルのボリュームの増減ボタンを両方同時に押すと、システムがミュート状態になります。システムがミュート中にボリュームボタンのどちらかを押すと、サウンドが元の状態に戻ります。

**Bluetooth：**このボタンを押すと、サウンドバーを通してペアになったBluetooth対応デバイスからオーディオを流します。(ペアになったBluetooth対応デバイスがアクティブソースである場合、Bluetoothソース・インジケータLEDが点灯します。)サウンドバーを優先的にBluetoothペアリングモードにするには、このボタンを長押しします。詳細については、「Bluetoothを使用する」セクションをご覧ください。

**JBLコネクト：**このボタンを押すと、JBLコネクト・ペアリングモードに入ります。JBLコネクトにより、他のJBLコネクト対応製品とのBluetoothワイヤレス接続が可能になります。詳細については、「JBLコネクトを使用する」セクションをご覧ください。

**JBL SoundShift®(サウンドシフト)：**このボタンを押すと、JBLサウンドシフト・モードに入ります。JBLサウンドシフトにより、TVのサウンドとスマートフォンまたはタブレットのサウンド間の切り替えが瞬時にできます。詳細については、「JBLサウンドシフトを使用する」セクションをご覧ください。

**サウンドバー・リアパネル接続とコントロール**



**電源入力：**同梱の電源コードをここに接続してください。詳細については、「電源接続」セクションをご覧ください。

**光ケーブル入力端子：**お持ちのTV、ディスクプレーヤー、またはケーブル/BS/CSチューナーなどが光デジタル出力を備えている場合、付属の光端子ケーブルを使用してここに接続してください。

**外部入力端子：**3.5mmオーディオケーブルを使用して、TV、ディスクプレーヤー、ケーブル/BS/CSチューナーなどのステレオ・アナログ出力をここに接続します

**HDMI1/2/3：**HDMI接続はデバイス間のデジタルオーディオとビデオ信号を伝達します。HDMIコネクタ付きのソースデバイスをお持ちの場合、それを使えば可能な限りで最高のオーディオとビデオパフォーマンス品質が実現します。

**HDMI TV：**TVにHDMI入力端子がある場合、付属のHDMIケーブルを使用してサウンドバーのHDMI ARC TV出力コネクタと入力端子を接続します。サウンドバーは接続されたソースデバイスからHDMI入力コネクタにビデオ映像を送ります。TVにHDMIオーディオ・リターン・チャンネル(ARC)機能が搭載されている場合、HDMI ARC TV出力接続経由でサウンドバーにサウンドを送ることができ、サウンドバーにオーディオ・コネクタを追加する必要はありません。HDMI TVソースが選択されている場合、ARC信号はアクティブです。)

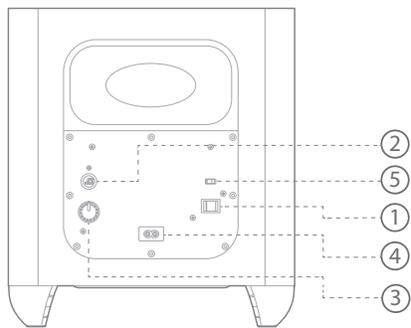
**サブウーファー・ペアリングボタン：**ペアリングボタンを押して、サウンドバーとワイヤレス・サブウーファーとのペアリングを開始してください。詳細については「ワイヤレス操作のためのユニットのペアリング」をご覧ください。

**ウォールマウント/テーブルマウントEQスイッチ：**このスイッチを使用して、壁またはテーブルへの取り付けにふさわしいサウンドバーのイコライゼーション(EQ)を調節してください。付属の壁取り付け用ブラケットでサウンドバーを壁に設置する場合、最も自然なサウンドのバス・パフォーマンスを実現するため、EQスイッチを「ウォール」ポジションにセットします。サウンドバーをテーブルに置く場合、最も自然なサウンドのバス・パフォーマンスを実現するため、EQスイッチを「テーブル」ポジションにセットします。

**ソフトウェア：**USB接続は手動でのソフトウェア・アップデートのみです。新しいソフトウェア・アップデートがリリースされた場合、お持ちの製品が [www.JBL.com](http://www.JBL.com) に登録されていればJBLがそのことを通知します

**重要：**他の全ての接続を終えて確認するまでは、ACコンセントに電源コードを接続しないでください。

## サブウーファー・リアパネル接続とコントロール



- 1) パワー
- 2) ワイヤレス ペアリング ボタン
- 3) クロスオーバー
- 4) AC電源 インプット
- 5) フェーズ

**注意:** JBL CINEMA(シネマ) SB450は工場出荷時からすでにサブウーファーとペアになっているので、電源の接続後、サブウーファーからのオーディオ出力が検出できない場合のみ、この取扱説明書のサブウーファーの接続セクションをご参照ください。

**ワイヤレス・ペアリング:** このボタンを押して、サブウーファーとサウンドバーとのワイヤレス・ペアリングを開始してください。サブウーファーの電源がオンで、サウンドバーとリンクしている時、LEDは白色で点灯し続けます。サブウーファーの電源がオンで、サブウーファーとサウンドバー間のワイヤレス・リンクが設定されていない場合、LEDは白色でゆっくりと点滅します。ワイヤレス・ペアリング・プロセスの間、LEDは白色で素早く点滅します。

**フェーズ・コントロール:** このスイッチが、サブウーファー・ドライバーがサウンドバーのスピーカーと同相で、ピストンのように行き来する動きをするかどうかを決定します。サブウーファーがサウンドバー・スピーカーと位相が一致しなかった場合、サブウーファーまたはサウンドバーによって作られた特定の音波がキャンセルされて、バス・パフォーマンスと音のインパクトを減少させる可能性があります。この現象は、部屋のスピーカーの相対的配置によってある程度決まります。詳細については、「サブウーファー・フェーズスイッチ」セクションをご覧ください。

**クロスオーバー:** このつまみは40Hzおよび200Hz間のサブウーファーのカットオフを調節します。設定するカットオフ・コントロールが高ければ高いほど、サブウーファーが作動する周波数も高くなり、低音がサウンドバーの低音とより「オーバーラップ」します。この調整により、様々な違う部屋やサブウーファーの位置にかかわらず、サブウーファーとサウンドバー間のバス周波数のスムーズな移行が実現します。詳細については、「サブウーファーのクロスオーバー・コントロール」セクションをご覧ください。

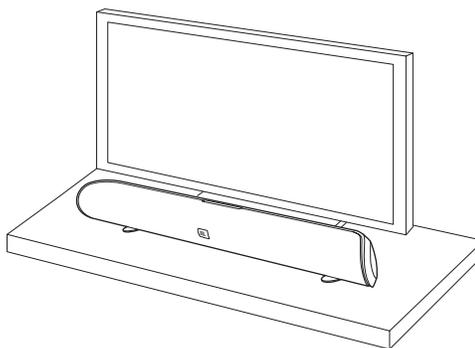
電源コードコネクタ付属の電源コードをここと、アクティブな、スイッチコントロール式でないAC電源に接続します。詳細については、「電源接続」をご覧ください。

**重要:** 他の全ての接続を終えて確認するまでは、ACコンセントに電源コードを接続しないでください。

## サウンドバーの設置

### テーブルにサウンドバーを置く

TVがテーブル上に置かれている場合、TVスタンド前のテーブル上に、TV画面を中心として直接サウンドバーを置くことができます。テーブルの表面が平らであれば、サウンドバーの金属の足を置けます。サウンドバーのEQスイッチを「テーブル」ポジションにセットしてください。「サウンドバーの背面パネルコントロールおよび接続」をご覧ください。

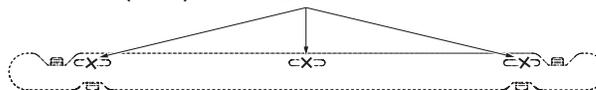


### サウンドバーの壁への設置

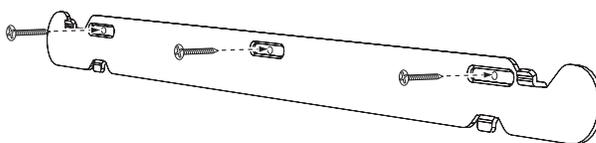
お持ちのTVが壁に取り付けられている場合、付属の壁取り付け用ブラケットを使用して、TV画面の真下の壁にサウンドバーを取り付けられます。

1. 壁のサウンドバーの位置を決定してください。壁に設置する場合、サウンドバーの上部がお客様のTV画面を見る邪魔になっていないことをご確認ください。
2. 型版としてブラケットを壁に押しつけ、壁にサウンドバーの壁取り付け用ブラケットの穴の位置をマークしてください。3つの穴は均等に18cmずつ離れたところにあり、ブラケットのスロットは4mmのねじが合うように設計されています。穴が同じ高さにあることを確認してください。下のイラストをご覧ください。

3つのブラケット穴の位置を7-1/16インチ (18cm)ずつ間隔を開けてマーキングする



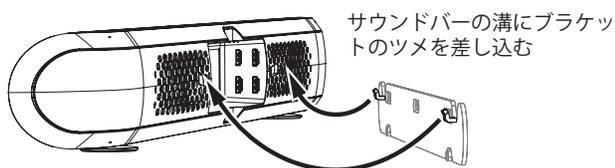
3. ブラケットの平らな面が壁に向いていることを確認し、壁の構造や素材に適した金具を使用して、壁取り付け用ブラケットをマークした位置に取り付けてください。サウンドバーが3.4kgの重量であることに注意してください。必ず、この重量に対応できる金具を使用してください。



「接続」セクションを読んだ後、全てのケーブルをサウンドバーに接続してください。

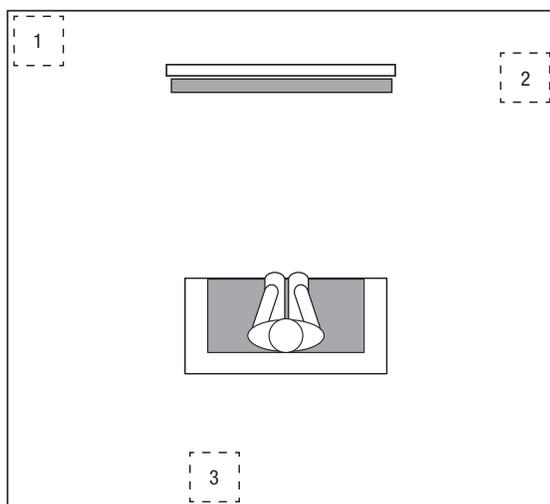
**重要：この時点で、サウンドバーの電源コードをACコンセントに絶対に差し込まないでください。**

4. サウンドバーのEQスイッチを「ウォール」ポジションにセットしてください。
5. サウンドバー背面の金具の上部にあるツメをスロットにスライドさせて、サウンドバーをブラケットに取り付けてください。サウンドバーのスロットにより、サウンドバーが確実に水平になるように、角度を調節できます。



6. 「接続」 覧を読んだ後、全てのケーブルをサウンドバーに接続してください。

## サブウーファースの設置



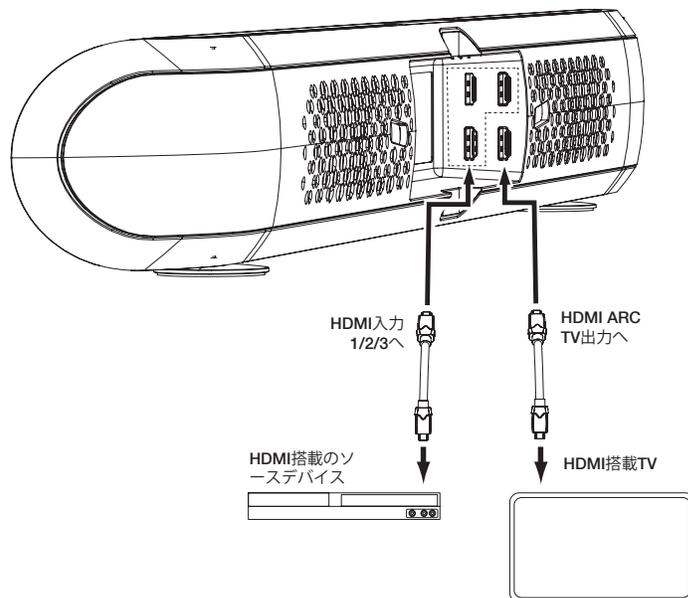
サブウーファースのパフォーマンスは、リスニングルーム内の設置とシステムの他のスピーカーに対する物理的位置に直接関係しています。例えば、隅(1) にサブウーファースを置くと、一般的に部屋の低音が最大になります。多くの部屋では、サウンドバー(2)と同じ平面にサブウーファースを置くと、サブウーファースとサウンドバーのサウンドに最高の融合が生まれる可能性があります。一部の部屋では、最高のパフォーマンスはリスニングポジション(3)の背後にサブウーファースを設置した結果です。サブウーファースの最終的な位置を選択する前に、設置場所を試されることを強くお勧めします。

## 接続

### サウンドバー・オーディオ/ビデオ接続

**HDMI ARC TV出力：**TVにHDMI入力端子がある場合、付属のHDMIケーブルを使用してサウンドバーのHDMI ARC TV出力接

続に入力端子を接続します。サウンドバーはソースデバイスからTVにビデオ映像を送ります。TVにHDMIオーディオ・リターン・チャンネル(ARC)機能が搭載されている場合、HDMI ARC TV出力接続経路でサウンドバーにサウンドを送ることができ、サウンドバーにオーディオ・コネクタを追加する必要はありません。HDMI TVソースが選択されている場合、ARC信号はアクティブです。



**HDMI入力1/2/3：**ソースデバイスのどれかにHDMIコネクタが付いている場合、サウンドバーのHDMI入力1/2/3コネクタをそれに接続すれば可能な限りで最高のビデオとオーディオ・パフォーマンス品質が実現します。HDMIケーブルはデジタルビデオおよびデジタル・オーディオ信号を伝達するので、HDMIコネクタ経由で接続するソースデバイス用にオーディオ接続を追加する必要はありません。

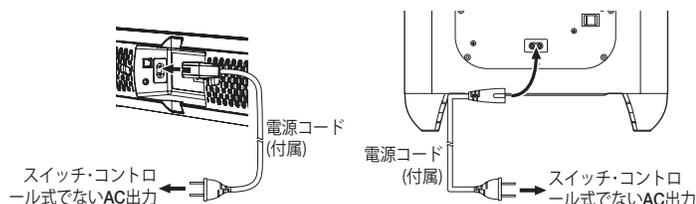
**注意：**JBL CINEMA(シネマ) SB450は全HDMI入力および出力でHDCP 2.2に対応しており、これはサウンドバーに4KウルトラHDソースを直接接続できることを意味しています。HDCP 2.2にも対応しているか、またはテレビが4Kに対応している場合でも、HDCP 2.2コピープロテクト・コンテンツの4Kコンテンツが自動的にフルHDにダウングレードされることを確認するには、テレビの取扱説明書をご参照ください。

**外部入力および光端子入力接続：**TVおよびソースデバイスでHDMI接続ができない場合は、付属のオーディオケーブルおよび光端子ケーブルを使用して、TVおよび1台のソースデバイスをそれぞれサウンドバーの外部入力と光ケーブル入力端子に接続できます。

**注意：**光ケーブル入力はデジタルオーディオとサラウンドサウンド・フォーマット全てには対応していません。光学入力が対応していないオーディオ・フォーマットを受信した場合、音飛びが起こることがあります。HDMI入力は対応していないオーディオ・フォーマットを自動的に検知し、解決します。光学接続で音飛びがある場合は、ソースデバイスのオーディオ出力フォーマットをPCMに変えるか、ソースからサウンドバーまでHDMI接続を使用することをお勧めします。

## 電源接続

全てのソース接続が適切にされていることを確認した後、付属の電源コードをサウンドバーとサブウーファースの電源コードコネクタに差し込み、もう片方の端をアクティブでスイッチコントロール式ではないACコンセントに差し込みます。いくつかのオーディオ製品に付いている付属の差し込み口に、このコードを絶対に差し込まないでください。



## サウンドバーシステムの使用

### サブウーファースのオンとオフの切り替え

サウンドバーまたはリモコンの電源ボタンを押して、サウンドバーの電源をオンにします。サウンドバーをスタンバイモードにするには、サウンドバーがオンになっている時にサウンドバーかリモコンのどちらかの電源ボタンを押します。

手で電源ボタンを押してサウンドバーをスタンバイモードにした場合は、次の方法で元に戻すことができます：

1. 再度電源ボタンを押す
2. 接続されたBluetooth対応デバイスから音楽を流す

10分間作動しなければ、サウンドバーは自動的にスタンバイモードに入ります。さらにサウンドバーが自動的にスタンバイモードに入った場合、最後に検知した接続からオーディオ信号を受信すると、自動的に再度電源が入ります。

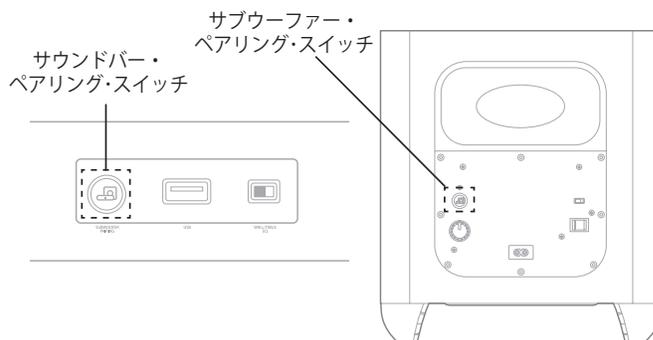
**注意：**TVのリモコンでサウンドバーを操作できます。詳細については「TVリモコンを使用する(TVリモート・ラーニング)」をご覧ください。

### サブウーファースのオンとオフの切り替え

サブウーファースの電源スイッチを「オン」にします。いったんサブウーファースとサウンドバーがペアになると（以下、ワイヤレス操作のためのユニットのペアリングをご覧ください）、サウンドバーの電源を入れる時、サブウーファースはオンになり、サウンドバーがスタンバイモードに入った後約30秒間、またはオーディオ信号の停止後約10分間そのままです。長期間家を留守にする場合、または長期間システムを使用していない場合は、サブウーファースの電源は「オフ」にしてください。

### ワイヤレス操作をするためのユニットのペアリング

JBL Cinema(シネマ) SB450サウンドバーとワイヤレス・サブウーファースは自動的に「ペア」になります。システムがすぐに接続されない場合は、両ユニットのワイヤレス・ペアリングボタンをそれぞれ30秒以内に押してください。ユニットは互いにつながり、同じ周波数で操作されます。



**注意：**サウンドバーとサブウーファース間のワイヤレスでの最大操作距離は約10mです。

### ソースの切り替え

JBL Cinema(シネマ) SB450リモコンの該当するボタンか、トップボタン・パネルのソースボタンを押すとサウンドバーに接続されているデバイスをどれでも選択できます。アクティブソースのソース・インジケーターLEDが点灯します。

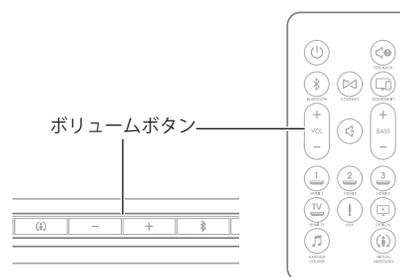
TVの入力接続に直接デバイスを接続し、TVのHDMIARC入力にサウンドバーを接続した場合、オーディオはTVからサウンドバーに流れます。

1. JBL SB450リモコンのHDMI TVボタンを押して、TVからオーディオを選択します。
2. TVリモコンを使用して該当する入力ソースデバイス（「入力」または「ソース」ボタンが付いていることがあります）を選択します。TVの設定と操作をご参照ください。

### システムのボリューム調整

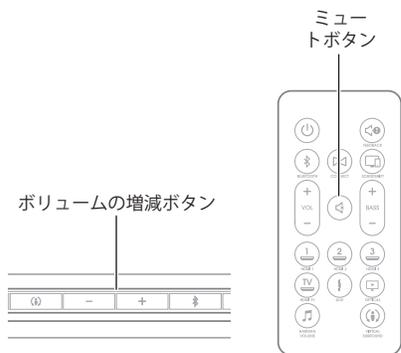
サウンドバーまたはリモコンのボリューム+および-ボタンを押して一度に1段階ずつシステムのボリュームを増減させます。ボタンを押したままにすると、連続したボリュームの増減ができます。サウンドを最高なものにするため、お持ちのTVに内蔵のスピーカーをオフにしておくことをお勧めします。この方法について知るには、TVの取扱説明書をご覧ください。

**注意：**TVのリモコンでサウンドバーを操作できます。詳細については「TVリモコンを使用する(TVリモート・ラーニング)」をご覧ください。



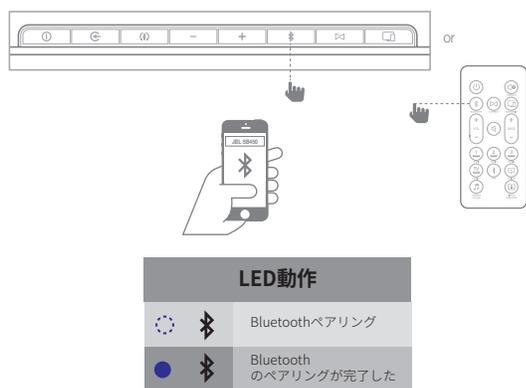
## システムのミュート

システムをミュート状態(電源LEDが点滅します)にするには、サウンドバーのトップパネルのボリューム増減ボタンを両方同時に押すか、リモコンのミュートボタンを押します。さらにサウンドバーのボリューム増減ボタンのどちらかを押すか、リモコンのミュートボタンを再度押せばシステムのミュートは解除されます。



## BLUETOOTHを使う

Bluetoothは、モバイル機器からサウンドバーにあらゆる音楽を流せるようにする、ワイヤレス接続機能です。最高で3つのBluetooth機器を同時にペアにすることができます。



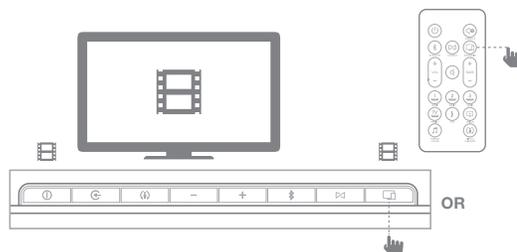
- Bluetoothボタンを3秒間押し続けると、ペアリングモード(ボタンLEDが青で素早く点滅します)に入ります。
- モバイル機器のBluetooth設定を開いてJBL CINEMA(シネマ) SB450を見つけて選択します。
- お持ちの機器からJBL CINEMA(シネマ) SB450に音楽をストリーミングして接続状態をテストします。
- Bluetooth対応機器を追加するには(3台まで)、ステップ1と2を繰り返す。

**注意：一度に1台以上のBluetooth対応機器をペアにしたことがある場合、「再生」を押すだけで1台の機器が、他の機器を妨害/他の機器に優先することがあります。**

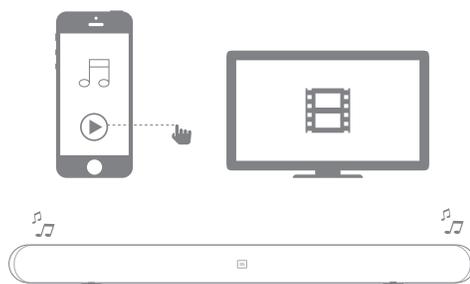
## JBL SOUNDSHIFT™(サウンドシフト)を使う

JBL SoundShift(サウンドシフト)は新しいテクノロジーで、TVとお持ちのワイヤレスBluetooth対応機器の音声をシームレスに切り替えることができます。この機能はTVを見ながらBluetooth

対応機器を使用し、リモコンなしに2つの機器間の音声の切り替えをするのに役立ちます。



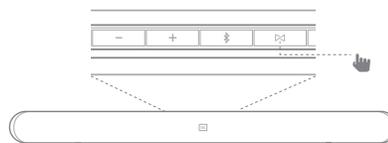
LED動作	
	サウンドシフトはオフです
	サウンドシフトはオンです



- 最低1台のBluetooth対応機器をサウンドバーとペアにした(「Bluetoothを使う」覧をご覧ください)ことを確認します。
- LEDが青に変わるまで、リモコンまたはトップパネル・ボタンのJBLサウンドシフトボタンを押します。この色は、JBL SoundShift(サウンドシフト)がオンになっていることを示します。
- 普通の方法で、サウンドバーを通してどのソースからでもサウンドを再生します。
- モバイル機器の「再生」を押して音楽を流す。TVのサウンドにBluetoothの音声が「割り込む」のが聞こえます。
- モバイル機器の「ポーズ」を押す。音声が自動的にTVに切り替わるのが聞こえます。

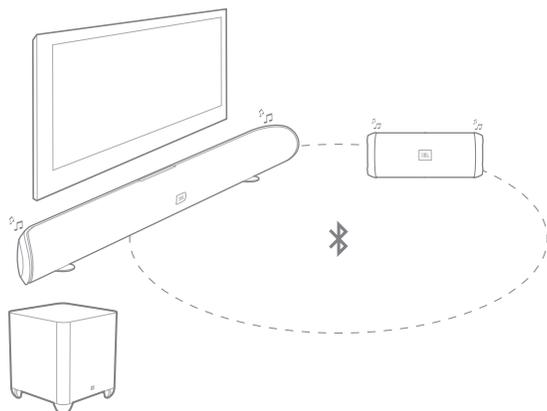
## JBL CONNECT(コネクト)を使う

JBL Connect(コネクト)により、ワイヤレスで2基のスピーカーをデジチェーン接続することができます。JBL Connect(コネクト)には、JBL Flip 3(フリップ3)、JBL Xtreme(エクストリーム)、JBL Pulse 2(パルス2)のような追加の対応スピーカーが必要です。詳細については、弊社のウェブサイト、www.jbl.comにアクセスしてください。



- サウンドバーに最低1台のBluetooth対応機器をペアにしたことを確認します。
- リモコンまたはトップパネル・ボタンのJBL Connect(コネクト)ボタンを押します(LEDが白く点滅します)。

3. 他のJBLスピーカーのJBLConnect(コネクト)ボタンを押す。いったんサウンドバーとセカンダリーJBLスピーカーが接続されれば、LEDは白く点灯します。
4. ワイヤレス機器から音楽を流す。両方のスピーカーからサウンドが聞こえます
5. 2台の機器間のボリュームは同期していて、1台の機器のボリュームを増減させるともう1台も同じ音量になります。
6. JBL Connect(コネクト)を無効にするには、2台目の機器の電源を切ります。



LED動作	
	JBLコネクトスピーカーを探しています
	JBLコネクトスピーカーで組み合わせます

**注意：JBLConnect(コネクト)はBluetoothオーディオ・ストリーミングにのみ対応しています。有線TV入力からの音声は2台目のJBL機器では音楽が再生できません。**

### 音声フィードバックを使う

音声フィードバックにより、可聴音で特定の製品機能をお知らせすることができます。音声フィードバックがオンの場合、JBL Cinema(シネマ) SB450に特有の機能のトーンが聞こえます：

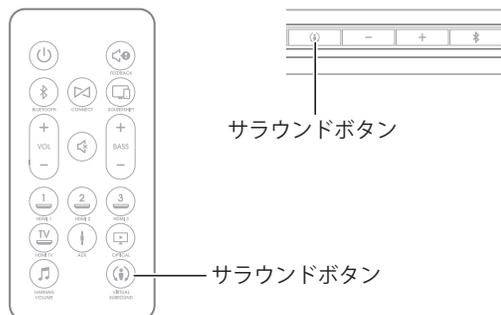
1. Bluetoothペアリングをオンにする。
2. Bluetooth対応機器を接続する
3. JBL Connect(コネクト)ペアリングをオンにする
4. JBL Connect(コネクト)機器を接続する
5. JBL SoundShift(サウンドシフト)のON/OFF
6. Harman Volume (ハーマンボリューム) オン/オフ

### バーチャル・サラウンドを使う



Harman Display Surround(ハーマン・ディスプレイ・サラウンド)により、ホーム・エンターテインメントに豊かなバーチャル・サラウンド・サウンドがプラスされます。映画を見る場合にHarman Virtual Surround(ハーマン・バーチャル・サラウンド)をオンにすると、ワイドで広がりのあるサウンド効果を体験できます。

サウンドバーまたはリモコンのサラウンドモード・ボタンを押すと、ノーマルステレオとHarman Display Surround(サラウンドモード・インジケータが白く点灯します)のどちらかにサウンドが切り替わります。Harman Display Surround (ハーマン・ディスプレイ・サラウンド) 設定はサウンドバーの前や、数フィート離れたところに座っている方に、完璧なサラウンド・サウンド体験をさせてくれます。本機能は特に映画を見る時に効果的ですが、音楽向けにもHarman Display Surround (ハーマン・ディスプレイ・サラウンド) 設定をお試しいただけます。



### Harman Volume (ハーマンボリューム) を使う

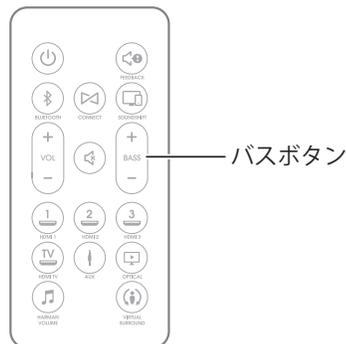
Harman Volume(ハーマン・ボリューム)はコンテンツ内のソフトな音と大音量の間の大きなボリュームの変化を抑え、音量をできるだけ一定にします。コマーシャルが流れるTV、または深夜の映画を見ている場合、Harman Volume(ハーマン・ボリューム)をオンにします。HarmanVolume(ハーマン・ボリューム)をオンにするには、リモコンのボタンを押します。

**注意：リモコンで音声フィードバックをオンにすると、HarmanVolume(ハーマン・ボリューム)のオン/オフ設定の音声レベルで聞くことができます。**

### バスの調整

#### サブウーファー・レベル・コントロール

リモコンの+/-ボタンを押して、お好みでバスレベルを調節します。



## サブウーファー・クロスオーバー・コントロール

サブウーファー・クロスオーバー・コントロールは40Hzおよび200Hz間のサブウーファーのカットオフを調節します。設定するクロスオーバー・コントロールが高ければ高いほど、サブウーファーが作動する周波数も高くなり、低音がサウンドバーの低音とより「オーバーラップ」します。この調整により、様々な違う部屋やサブウーファーの位置にかかわらず、サブウーファーとサウンドバー間のバス周波数のスムーズな移行が実現します。クロスオーバー・コントロールを設定するために、低音の滑らかさに耳を試聴してください。低音が特定の周波数で強すぎるように思える場合は、より低いクロスオーバー・コントロール設定をお試しください。低音が特定の周波数で弱すぎるように思える場合は、より高いクロスオーバー・コントロール設定をお試しください。

クロスオーバー



## サブウーファー・フェーズスイッチ

このスイッチが、サブウーファーがサウンドバーのスピーカーと同相で、ピストンのように行き来する動きをするかどうかを決定します。サブウーファーがサウンドバー・スピーカーと逆相で鳴っていた場合、サウンドバーとサブウーファーからの音波の一部はある周波数では相殺されることがあり、バス・パフォーマンスと音のインパクトを低下させます。この現象は、部屋のサウンドバーとサブウーファーの相対的配置によってある程度決まります。フェーズスイッチに絶対に正しい設定はありませんが、大部分のケースでは「0°」位置のままにしておきます。サブウーファーがサウンドバー・スピーカーとちょうど同相の場合、サウンドはよりクリアでインパクトがあります。このスイッチは、ドラムのような打楽器のサウンド、ピアノや弦楽器のサウンドをよりリアルにします。フェーズスイッチを設定する最良の方法は、聞き慣れた音楽を聴き、ドラムや他の打楽器のサウンドが最高のインパクトを持つようにスイッチを調節することです。

フェーズ

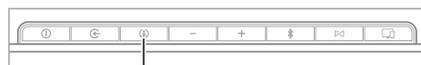
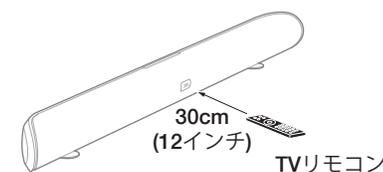


## TVリモコンを使う(TVリモコン・ラーニング)

TVにHDMI ARC接続をする場合、TVリモコンは自動的にサウンドバーの電源のオン/オフやボリューム・コントロールといった標準的な操作ができるようになります。JBL CINEMA(シネマ) SB450はHDMI CECに対応しており、対応するTVと同時に使用できます(HDMI CECに対応しているかどうかを知るには、TVの取扱説明書をご確認ください)

TVがHDMI CECボリュームと電源操作に対応していない場合、もう一つのオプションはTVリモコンでサウンドバーをコントロールするプログラムです。例えば、電源オンを押した場合、TVとサウンドバーの電源が同時にオンになります。これにより、簡

単にお使いのシステムをTVとスピーカーに同期させておくことができます。



ボタンがアンバー色で点滅するまで押し続ける

1. サウンドバーがオンであることを確認する
2. LEDがアンバー色に点滅するまで、トップパネルのHarman Display Surround(ハーマン・ディスプレイ・サラウンド)ボタンを5秒間押し続けます。LEDが点滅しない場合、ボタンを放して再度試します。
3. サウンドバーのトップパネルのボリュームアップ・ボタンを押します
4. TVリモコンをJBL Cinema(シネマ) SB450の前面に向けて、Harman Display Surround(ハーマン・ディスプレイ・サラウンド)ボタンが1秒間白色に点滅するまで、TVリモコンのボリュームアップ・ボタンをゆっくり押します。これはプログラム操作が成功したことを示します。
5. ボリュームダウン、電源、ミュート(JBL Cinema(シネマ) SB450をミュートするには、ボリュームアップとボリュームダウン・ボタンを同時に押す)を操作するには、ステップ3と4を繰り返します。
6. ラーニング・モードから離脱するには(いつでも、または記憶が完了した時)、アンバー色のLEDが点滅を止めるまで、Harman Display Surround(ハーマン・ディスプレイ・サラウンド)ボタンを押し続ける。

## サウンドバーのリセット

JBL Cinema(シネマ) SB450は工場出荷時のデフォルト設定にリセットし、全てのプログラムを消去できます。

サウンドバーをリセットするには、ボリューム+とバーチャル・サラウンドボタンを5秒間押し続けます。

## トラブルシューティング

JBL Cinema(シネマ) SB450が本来の動作をしていない場合には、販売店やJBLの代理店にご連絡いただく前に、その問題がこのセクションで取り上げられていないかどうかチェックしてください。

問題	解決策
スピーカーがオンにならない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーカーのAC電源コードが、電気が来ているACコンセントに差し込まれており、電源コードがスピーカーに差し込まれているかどうかチェックしてください。</li> </ul>
スピーカーから音が出ない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源がオンになっていることをチェックし、次にボリュームの音量が上がっているかどうかチェックしてください。</li> <li>TVが間違いなくオーディオ接続可能な設定になっているか、または別のソースを接続しようとしているかどうかをチェックしてください。</li> </ul>
スピーカーのボリュームを最大にしてもシステムから全く音が出ない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>TVまたはソース機器が可変出力経由で接続されている場合、出力が低すぎないかを説明書でチェックするか、または別のソースに接続してみてください。</li> </ul>
TV画面に映像が映らない場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>サウンドバーの電源、対象となっているソースがオンになっており、サウンドバーに正しく入力されていることをチェックしてください。</li> </ul>
サブウーファーから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>電源がオンになっており、サブウーファーがサウンドバーと正しくペアになっていることをチェックしてください。</li> </ul>
光端子入力を使用すると音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>光端子入力は全てのサラウンドサウンド・フォーマットには対応していません。他のサウンド・フォーマットを使用している場合、JBLはHDMI接続の使用をお勧めします。</li> </ul>

## 仕様

Cinema(シネマ) SB450のトータルのアンプ出力：440W

最大音圧レベル：103dB

周波数特性：40Hz～20kHz

HDMIビデオ入力：3

HDMIビデオ出力(オーディオ・リターン・チャンネル付)：1

Bluetoothバージョン：3.0

Bluetoothの最大有効範囲：32フィート(10m)

サウンドバーのアンプ出力：240W

サウンドバーのトランスデューサー寸法：2.25インチ(58mm)

サウンドバー寸法(長さx幅x高さ)：44x3x4インチ(1100x76x97mm)

サウンドバー重量：7.5ポンド(3.4kg)

サウンドバーの電力消費量(スタンバイ時)：0.5W以下

サウンドバーの電力消費量(最大時)：60W

サブウーファー・アンプ出力：200W

サブウーファーのトランスデューサー寸法：8インチ(200mm)

サブウーファー寸法(長さx幅x高さ)：13x13x14インチ(320x320x355.5mm)

サブウーファーの重量：21ポンド(9.5kg)

サブウーファーの電力消費量(スタンバイ時)：0.5W以下

サブウーファーの電力消費量(最大時)：100W

外装寸法(長さx幅x高さ)：46x16x19インチ(1210x395x520mm)

外装重量(総重量)：35ポンド(16kg)

Торговая марка	: JBL
Назначение товара	: Активная акустическая система
Изготовитель	: Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения	: Китай
Импортер в Россию	: ООО «ХАРМАН РУС СиАйЭс», Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период	: 1 год
Информация о сервисных центрах	: <a href="http://www.harman.com/ru">www.harman.com/ru</a> тел. +7-800-700-0467
Срок службы	: 5 лет
Товар сертифицирован	
Дата производства	: Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «М» - месяц производства (А - январь, В - февраль, С - март и т.д.) и «Y» - год производства (А - 2010, В - 2011, С - 2012 и т.д.).



HARMAN International Industries, Incorporated  
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329  
USA  
[www.jbl.com](http://www.jbl.com)

© 2016 HARMAN International Industries, Incorporated (ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社)。無断複写・転載を禁じます。JBLは、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)の、米国および/またはその他の国々の登録商標です。特徴、仕様および外観は、予告なしに変更されることがあります。Bluetooth®のワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc.の所有する登録商標であり、ハーマン・インターナショナル・インダストリーズ株式会社(HARMAN International Industries, Incorporated)によるこの商標のいかなる使用もその許可を得ています。他の商標および商標名は各所有者に属します。HDMI、HDMIロゴ、High-Definition Multimedia Interfaceは米国およびその他の国でのHDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。「ドルビーラボラトリーズのライセンスの下で製造されます。Dolby、Dolby AudioそしてダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。」